

日本細菌学会 関東支部ニュース

第28号

第77回日本細菌学会関東支部総会のご案内

我が国のO-157騒動はやや落ち着いたと思っ
たが、春からまた不気味な感があるし、ウイルス
さらにはプリオン感染とニュースに感染症が取り
扱われない日はない。第77回の支部総会では、
腸管出血性大腸菌に関する一般演題が多数集
まりそうなのでワークショップとして取り上げるこ
ととした。また*Helicobacter pylori*の演題につい
てもまとめてディスカッションの時間がとれるよう
に企画するつもりである。世界的にみても感染症で
の死亡率が再び高くなっている中で高齢化した
我が国では、日和見感染症が特別高い死亡原因
となっている。6月26日(木)・27日(金)の2日間、
交通の便のよいアルカディア市ヶ谷に足を運んで
いただき、コッホの条件を満たす病原微生物を
研究しておられる先生方と日和見感染症を研究
しておられる先生方と一緒にいろいろな討論
いただければと願っている。またCompromised
hostというある意味で曖昧な捕らえにくいところ
に焦点をあてシンポジウムを組んでいた。

初日の6月26日(木)は一般演題に続き結核菌
について、長崎大学・歯学部の山田 毅教授
に特別講演をしていただく。「 α 抗原を中心にし
てBCG菌抗原の生化学的と免疫学の研究」で
先生の結核菌との取り組みのスタートから将来
展望を話してもらう。結核菌感染者の数が世界
人口の3分の1の17億人に達していることが
WHOから発表され、細菌学会会員全員の関心
が高いものと思われる。シンポジウムI「日和見
感染起因微生物の分子生物学的解析」では、
MRSA、緑膿菌、歯周病原菌、*Candida
albicans*を取り上げた。歯周病原菌を3菌種
も取りあげたが、それぞれのスピーカーは別々の
話題を提供してくれる予定となっており、飽きら



総会長

奥田 克爾
東京歯科大学

微生物学講座

れることはないと確信している。

2日目の6月27日(金)は、通常の一般演題に
続いて一般演題のO-157:H7をワークショップと
してディスカッションしてもらおう。午後は大阪大・
微生物病研・免疫・生体防御研究部門・免疫
化学の清野 宏教授に「感染防御免疫として
粘膜免疫細胞間インターネット」の特別講演を
していただく。シンポジウムII「日和見感染症
におけるCompromised hostの問題点」に関し
ては、東京大・医科研・アレルギー研究部の成
内秀雄教授と防衛医科大・寄生虫学の多田隅
卓史教授のお骨折りで好中球・T細胞・B細胞
の機能異常と感染症の問題、MHC欠損やアポ
トーシスおよびHIVの細胞への侵入と免疫に関
わる研究の第一線のスピーカーを選んでいただ
いた。先の第70回日本細菌学会総会では、「遺伝
子異常と易感染症；遺伝子欠損マウスを用いた
解析」のシンポジウムがあり、多くのことを勉強
することができた。今回のシンポジウムでは、違
った角度からの発表がなされホットディスカッ
ションが持たれるものと期待している。

いずれにしても学会の活性化は、主役である
会員によってなされることから一人でも多くの参
加を願っている。

第76回日本細菌学会関東支部総会と3学会合同シンポジウムを終えて

東京女子医科大学微生物学免疫学教室

内山 竹彦

去る平成8年11月13日、14日に東京女子医科大学弥生記念講堂で開催された第76回日本細菌学会関東支部総会と11月16日に経団連会館で初めての試みとして開催された「3学会合同シンポジウム」が無事に一応の成功裏に終了したことを報告いたします。この3学会合同シンポジウムは、細菌学会関東支部会から積極的に働きかけて、第43回日本化学療法学会東日本支部総会（会長、日大 中山一誠博士）と第45回日本感染症学会東日本地方会（会長、順天堂大 渡辺一功博士）と我が第76回支部総会の間合同シンポジウムがもたれたのであります。支部総会の開催の機会を与えて頂き、ありがとうございました。吉川支部長を始め、評議員の皆さまのご指導、支部会員の皆さまのご協力とご参加を感謝いたします。

関東支部総会本体では、2つのシンポジウムと50題という多くの一般演題が発表されました。一般演題では、O-157大腸菌など現在社会的に最も注目されている病原微生物をはじめ、多くの興味深い研究発表がなされました。第1日のシンポジウム「ヒトから細菌までのゲノム解析と遺伝子治療の現状」は大阪大学木下タロウ博士のお世話と司会で行われました。いまこの分野で活躍されている先生方に研究の現状を紹介していただきました。かなり高度な内容でしたがよく理解できたと思いました。わたしの研究室でも遺伝子解析によってT細胞活性化因子としての新しい蛋白のcharacterizationが可能になったように、今日の細菌学とそれに関連ある研究分野では遺伝子解析の手法は欠かすことはできません。しかし、われわれ研究する個人の科学観、興味の強さ、多面的事象を総合的に把握する能力などがなければ、ヒトや細菌の全遺伝子解析といえども、単なる記号の羅列に終わる可能性があります。細菌学の分野は、細菌の培養、蛋白の精製、ヒトや動物の細胞を用いた

研究、ヒトの臨床症例、さらに遺伝子解析などを含む総合研究分野であります。遺伝子解析の結果を有効に利用・活用しようではありませんか。

第2日目のシンポジウム「感染・発症のメカニズム—病原因子再考」は杏林大・神谷茂博士と筑波大・林英生博士のお世話と司会で現在活躍しておられる先生方に今日問題の細菌感染症の病原因子について多面的に光をあてていただきました。細菌感染症という複雑な反応系では、病原因子は平面的な視点では捉えることはできません。生体側の因子、細菌側の因子、さらに細菌側の因子でも病原因子は研究者の観点によって異なってきます。これからこの分野はますます眼が離せないと思われまます。

さて、3学会合同シンポジウムについて、テーマは「化学療法は何故効き、何故効かなくなるか」で北里研・橋本一博士と帝京大・国井乙彦博士のお世話と司会で、2学会合同学会の2日目に「3学会合同」として行われました。2学会の最終日の最終時間にも関わらず、大入り満員の盛況でありました。このことは、われわれが考えている3学会合同に日本細菌学会ばかりでなく2学会の方々の期待も大きいことを物語っています。聴衆からも活発な質疑があり、さらに3学会の融合的学会についても様々な意見がありました。わたしは基礎と臨床の活発な対話は新たな研究の発掘にもつながると考えているので、このような試みは続いてほしいと思います。これからの日本細菌学会関東支部会員の皆さまのご活躍を期待します。

第78回日本細菌学会関東支部総会に向けて

国立小児医療研究センター感染症研究部

竹田 多恵

細菌学会活性化の一環として、吉川昌之介支部長は早くから学際的な学会の合同開催を希望されていました。その初回の試みとして平成8年の秋、東京女子医科大学内山竹彦教授が第76回支部総会で、感染症学会東日本地方会と化学療法学会東日本支部総会と合同のシンポジウムを実施されました。その成果を受けて、本年秋の学会ではさらに進んだ形での合同学会の開催を関東支部会は総意で希望されています。私が始めてそのお世話役を承ったのはまだ春早い頃でした。大腸菌O-157の問題も起きていなかった時でした。大変不安ではありましたが、次回の感染症学会地方会と化学療法学会支部会の総会長をそれぞれ入交昭一郎先生（川崎市立病院院長）と井上松久先生（北里大学医学部微生物学教授）がされるとのお話を伺い、お引き受けさせていただくことになりました。

その直後、大腸菌O-157は細菌学研究者の全てを巻き込む大きな問題となり、われわれの研究室も直撃を受けました。その経験は細菌学会総会のあり方にも多大の教訓を与え、学際的に協力して研究を行うことの必然性を一層深刻なものにしています。大腸菌O-157というたった一つの病原菌でも、これを理解し、制御するには細菌学だけでは不可能であること。臨床医学、化学療法学、薬学、分子生物学、農獣医学、公衆衛生学、疫学、そして行政などあらゆる分野が一挙に連携をとって働く事を余儀なくしています。一分野だけの知識はいかに無力で無効であるかを知らされました。このような折り、まさに時を得て3学会合同で支部総会をお世話させて頂けることは大変幸運に思います。

場所と時期はすでに2学会の方で設定されておりましたので、同じ場所で同時期に同時開催させていただくことになりました。横浜ランドマークタワー内、ホテル横浜ロイヤルパークニッコーで、10月30日（木）～31日

（金）に予定しております。この同時開催が可能になりましたのはひとえに、入交昭一郎先生、井上松久先生、吉川昌之介先生、そして2学会の事務局を担当されている北里大学医学部微生物学教室の笹原武志先生など多くの先生方のご支援の賜です。深く感謝しております。2学会では招請講演、シンポジウム、教育講演、市民公開講座、ミニシンポジウムなど盛り沢山のプログラムを企画されています。そして「変遷する感染症起因菌」「輸入感染症」「抗菌薬の新たな問題」「予防接種戦略」など細菌学にとっても重要な共通課題が議論される予定です。この2学会が企画されている特別プログラムの演者、司会者には細菌学会の会員も何人か参加させていただくことになっております。「Viral and host factors involved in AIDS pathogenesis」

「systemic inflammatory response syndromes (SIRS)」と題する外国人講師も予定されています。細菌学会としての企画は例年の様に一般演題を口頭発表していただく予定です。シンポジウムは細菌学会独自では「腸管出血性大腸菌O-157—基礎と臨床を繋ぐ—」と題してアップデートな問題を取り上げたいと考えております。この問題はまだその対策上大きな進展を見ておりません。家庭に忍び込む菌の感染ルートは、迅速診断法は、抗菌剤の是非は、重症化の予知因子は、特異的治療法の方角性は、ワクチンは、など課題は山積しております。

3学会会員の先生方が相互に知識や意見の交換をされ、今後の研究発展に役立つ交流の場を提供させて頂ければ何よりの幸せです。そして、今後、合同学会開催が継続できますように、その橋渡しができればと願うばかりです。先生方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

フォーラム

夢想：アジア統合研究所

明海大学歯学部口腔微生物学講座

花澤重正

ここ数年来の生命科学の研究はTransgenic mice, Gene targeting miceなどの開発に伴い新たな発展を遂げている。世界の超一流雑誌に掲載されるこの分野の素晴らしい研究を拝見するたびに、アメリカ社会における中国、日本を初めとするアジア諸国の研究者の活躍を読みとることができる。特に、First authorとして名前を連ねる中国研究者の最近の活躍は十数年前の日本研究者のそれを回顧させるものがある。

昨今、日本においては大学改革並びに大学院大学などを主眼とした将来の科学を担う研究者の育成に関する問題が広く論議されている。現在、日本経済は厳しく、今後、国公立大学を問わず、それをとりまく環境の厳しさはその例外ではない。一方、中国を初め、アジア諸国は必ずしも豊かとはいえないにしても、ここ数年のその経済発展は目覚ましいものがある。このようなアジア諸国の環境の中、そこには未だ多くの病原性微生物による感染症が広範に渡り存在する現実がある。特に、エイズ感染者の増大とそれに病む人々のことを思うと専門外の一傍観者として一日でも早いその予防、治療法が確立されることを熱望するものである。

アメリカの研究環境の中で素晴らしい研究活動を推進しているアジア諸国の研究者の活躍を思う時、この卓越した能力を発揮できるような自然科学、社会科学を研究対象とするいくつかのアジア統合研究所を、日本、中国を中心としたアジア諸国に設立し、アジアが抱える多くの社会、医学、農学などを含む複雑化した諸問題をアジアの科学者が共にその英知を発揮し、自らの責任と能力で解決できるような研究所機構の設立されることをふとアジア諸国の研究者の素晴らしい研究論文を目にする時、願望する。

長い歴史の過程において科学者は力強く多くの問題を解決すべく研究を推進し、解明が不可能と思われたような多くの感染症や疾患の病原性機構を解明してきている。今、夢とも思えるアジア統合研究所構想が将来検討されることを私は夢想する。

変わりつつある大学院 — 私たちの例 —

昭和大学歯学部

後藤延一

歯学部の学生は、医学部も同様と思うが、少なくとも専門科目はすべて必修で、全員が同じメニューの教育を受けて卒業する。しかし、大学院に入学するとそれは一変する。

少なくとも私たちの大学院では、これまで、入学した院生の指導は指導教授にほとんど全面的に委任され、大学院という組織は、その院生の学位審査まで全く無関係であったといっても過言ではなかった。

しかし、昨年度から、大学院1年生に対して英語研修を始めとする多数のコースを用意し、全員が英語研修を受講するとともに、基礎や臨床のコースをいくつか選択・受講することを求めることとなった。

先頃全コースが修了したばかりで現在評価作業中であるが、これまで私が見聞したいくつかのことから推定的な評価をしてみたい。

まず、英語の研修は外国人講師を3人の院生が囲んで行う少人数のグループ学習であったが、講師の熱意に引きずられて、ほとんど全員が毎回出席した結果、受講後には歴然とした語学力の向上がみられた。

さらに、軽視できないのは、多くのコースで院生同士の交流が行われた副産物として、各自のおかれた教育環境を友人のものと比較し、不満を述べる院生が現れたことである。とくに、放任されていることに不満を持つ院生が出たことは、嬉しいことである。

このように、新しい大学院のカリキュラムは、院生の交流を促すと同時に、院生としての自覚を深める作用をもたらしたのではないかと思えるのである。

今後は教育する立場の人間も、院生の主体性を尊重し、自分の都合で仕事を与えずに、大学院生の将来を見据えて、教育者としての責任を果たさなければならないと反省させられる昨今である。

[掲 示 板]

日本細菌学会関東支部評議員選挙のお知らせ

関東支部選挙管理委員会 (○委員長)

内山竹彦、新井俊彦、野田公俊、○平松啓一、宿前利郎

日本細菌学会関東支部会則に基づく新評議員選挙を下記の予定表で行います。有権者名簿は、本ニュースに掲載のものをご使用下さい。*

予定表

平成9年6月20日 (必着)	有権者名簿に関する異議申し立て締め切り
宛先は	〒113 東京都文京区本郷2-1-1
	順天堂大学医学部細菌学教室
	日本細菌学会関東支部評議員選挙管理委員会
6月21日	異議申し立ての可否審議
6月28日	投票用紙、訂正部分のみを記した名簿の発送
7月17日 (必着)	投票締め切り
7月19日	開票
7月25日	当選通知発送
9月初旬	新評議員会

なお、日本細菌学会関東支部選挙細則にご留意くださるよう御願ひ致します。

*有権者名簿について

細菌学会前理事会の決定により、本年は細菌学会会員名簿は発行されませんでした。したがって、今回の関東支部評議員選挙に使用する名簿は、支部で独自に作製したものです。経費、人手の問題があり、有権者の所属などの情報を割愛せざるを得ませんでした。ご理解、ご了承のほど御願ひ致します。

名簿の名前の前に○印が付してある方が被選挙権者です。

【ア】	○赤田弘正	○安島勇	○天野滋	○荒川宣親
○相川清	秋庭正人	東隆親	○天野富美夫	○荒木誠一
○相川裕子	○秋山敏	○東量三	○天野祐次	○荒田悟
○相沢主税	○秋山昭一	安住聡子	○網谷真人	○有沢幸雄
○相場武	秋山徹	○畔高政行	AMIT PAL	有本やよい
○相場勇志	○秋山真人	○麻生健治	○鮎沢啓夫	○安斉了
○粟飯原景昭	明田川純	安達由香	○荒明美奈子	安藤勝彦
青木明美	○浅井良夫	○足立吉数	○荒井一二	○安藤隆雄
○青木宙	浅尾直幸	安達禎之	○新井武利	
青木正人	浅岡健光	○我孫子直光	○新井正	【イ】
○青山辰夫	○浅賀恵美子	○阿部章夫	○新井輝義	○飯島肇
赤尾三太郎	○朝川貞雄	○安部茂	◎新井俊彦	○飯田一雄
○赤川清子	○浅木正義	阿部貴弥	○新井秀雄	飯田貴敏
赤坂高明	○浅田和美	○阿部千代治	○荒川英二	○五十嵐武
縣邦雄	朝原崇	阿部廣幸	○荒川亨	○五十嵐英夫

- 五十嵐義晃
○生貝初
○五十君静信
○井口毅裕
○池和憲
○池康嘉
○池田滋
○池田周紹
○池田尊
○池田正
◎池田達夫
○池田輝雄
池田年純
○池田玲子
○池脇信直
○伊佐山康郎
○石井明
○石井勝弘
○石井純子
石井千穂
石井利典
○石井良和
○石川烈
○石川悦夫
○石川信一
○石川整
○石川博通
石黒義則
石沢希久子
石島早苗
○石田恵一
○石田説而
○石田裕子
○石田佳久
石塚誠治
○石塚雅章
○石戸利貞
○石橋治
○石橋悌子
石橋正人
○石橋芳雄
○石原和幸
○石原ともえ
石原容子
- 石山業弘
石渡尚子
○泉七江
泉谷秀昌
○井田孝志
○市川久浩
市川洋征
○市瀬正之
○一政満子
○一幡良利
市村和義
井筒浩
出野英志
- 伊藤喜久治
○伊藤健一郎
○伊藤清治
○伊藤隆男
○伊藤武
伊藤忠彦
○伊藤定一郎
○伊藤輝代
伊藤瑞恵
○伊藤裕子
稲垣善茂
○稲福全昌
○稲松孝思
稲村憲一
乾佐徒子
○猪野毅
○井上耕博
井上智
◎井上松久
○井上喜恵
○今井奨
今井敏夫
○今井信賢
○今泉厚
今岡明美
○今田由美子
今谷哲也
今中理恵
○今西健一
○今村二郎
今村美喜郎
- 伊予部志津子
○入江庸公
○入倉善久
○岩佐三郎
岩崎信明
岩崎真
○岩澤篤郎
○岩下淑子
○岩田和夫
岩橋広良
岩間明文
○岩本義久
- 【ウ】
○植木幸英
○上坂良彦
○上芝秀博
上田成子
上田久
○上野博嗣
○潮田弘
○牛場大蔵
○牛山正志
○臼井あけ美
○薄井貢
○碓井之雄
○宇田川光男
内井雅子
○内田郁夫
○内田勝久
○内田金治
内田寛
内村英正
○内村真佐子
○内山竹彦
○内山秀和
○宇津井幸男
○采孟
○宇野潤
○宇野正恒
○生方公子
○梅木富士郎
○梅崎良則
○梅田誠
- 梅原毅
梅本俊夫
○浦上逸男
○浦上貞
- 【エ】
江石義信
○江上徹
○江川清
○江川靖
○江口正志
○江月恵
○江藤由美子
○榎美香
江原進
○江本正志
○遠藤豊成
○遠藤宣子
遠藤美代子
○遠藤元繁
遠藤隆一
- 【オ】
○扇元敬司
○大石巖
○大海忍
大江美佐里
大川憲
○大木誠
○大草明美
○大國寿士
○大久保幸枝
○大久保豊司
○大久保吉雄
○大黒勇
○大崎敬子
大崎慎人
○大沢伸孝
大澤朗
○大下嘉弘
大島俊一郎
大島朋子
○大島まり子
○大島赴夫
- 大隅正子
○大関瑤子
○太田建爾
○太田功正
○太田伸
○太田哲英
○太田敏子
太田俊久
○太田博崇
大谷郁
○大谷昌
○大谷剛
大谷信崇
○大津英二
大月邦夫
大坪和光
○大友俊允
大西直子
○大西信彦
大西真
○大野章
○大野典也
○大野尚仁
大野博重
○大野豊
大林民典
○大眉寿々子
○大村智
○大村真理
○大谷明
○大脇眞
○岡基
○岡崎忠靖
○岡崎千里
○岡崎則男
○岡崎充宏
○岡沢豊
○小笠原晃
○岡田京子
○岡田敬司
○緒方幸雄
○岡田早苗
○岡田信彦
岡田由美子

- | | | | | |
|------------|---------|-------------|--------|--------|
| ○岡橋暢夫 | 落合雅樹 | ○加藤幸一 | ○川崎豊明 | 木村太門 |
| ○岡見吉郎 | 音琴淳一 | 加藤治郎 | 川崎洋司 | 木村智子 |
| ○岡村登 | ○小野彰 | 加藤大輔 | ○河田育大 | ○木村修武 |
| ○岡本公彰 | 小野恵利子 | ○加藤司 | ○河内章 | ○木村博夫 |
| ○岡本正孝 | ○小野信一 | ○加藤哲男 | ○河野勝彦 | ○木村誠 |
| ○岡本了一 | 小野寿久 | ○加藤秀人 | 川端寛樹 | ○木村光子 |
| ○小川節子 | ○斧康雄 | 加藤仁美 | ○川原一芳 | ○木村義民 |
| ○小川俊夫 | ○小野善栄 | ○加藤博史 | ○川村明義 | 牛ヶイ松 |
| ○小川正之 | 尾之上さくら | ○加藤裕久 | ○川村善治 | 切替照雄 |
| ○小川益男 | ○尾上洋一 | ○加藤文男 | ○川本英一 | 切替富美子 |
| 荻窪恭明 | ○小野川尊 | ○加藤安朗 | ○川本進 | ○金兌貞 |
| ○沖津忠行 | ○小野川傑 | ○金井興美 | ○神田稔久 | |
| ○沖永功太 | ○小野塚和康 | ○金森政人 | ○神野節子 | 【ク】 |
| ○沖永荘一 | 小野寺宜郷 | ○金内長司 | 官野幸子 | 久我明男 |
| 沖林文規 | ○尾畑浩魁 | ○金ヶ崎士朗 | | ○楠 淳 |
| 荻原和孝 | ○小原康治 | 金子亜希 | 【キ】 | ○工藤祐是 |
| ○奥裕一 | ○小柳津広志 | 兼子勇 | 紀伊道里 | ○工藤正四郎 |
| ○奥住捷子 | | ○金子賢一 | ○木内明男 | ○工藤泰雄 |
| ◎奥田克爾 | 【カ】 | ○金子誠二 | 菊田典子 | ○工藤由起子 |
| ○奥田研爾 | ○甲斐明美 | ○金子太吉 | 菊地清忠 | ○工藤豊 |
| ○奥田舜治 | ○甲斐幸作 | ○金子勉 | 菊地邦好 | ○久保陽徳 |
| ○奥田陸夫 | ○甲斐雅規 | ○金子通治 | 菊池賢 | ○久保田孝一 |
| ○奥田俊郎 | ○加賀谷けい子 | 金田一秀 | 菊池正 | 窪田良彦 |
| ○奥田能実 | ○賀来満夫 | 金光敬二 | ○菊地寛高 | 熊谷進 |
| 奥富隆文 | ○笠井隆夫 | ○鹿江雅光 | 菊池佑二 | 熊谷由美 |
| ○奥野ルミ | ○笠井通雄 | ○鎌田正信 | ○岸田一則 | ○熊川尚哉 |
| 奥村敦 | 風間貴文 | 蒲地一成 | ○木嶋真人 | 熊倉秀樹 |
| 奥本泰裕 | 風間仁 | ○神谷茂 | ○木島まゆみ | ○熊沢義雄 |
| ○奥山雄介 | 風見嘉子 | E. A. Kamei | ○北里正治 | 熊田薫 |
| 小倉理恵子 | 梶浦裕一 | 亀井克彦 | ○北沢賢 | ○熊田淳子 |
| ○奥脇義行 | ○柏崎守 | ○亀沢幸雄 | ○北田量宏 | ○熊田秀文 |
| 尾崎慎二 | 春日修 | ○加門敏雄 | ○北野繁雄 | ○久米勝己 |
| ○尾崎千晴 | 春日芳彦 | ○蒼嶋信介 | 北原尚志 | ○久米仁司 |
| ○小澤敦 | ○片岡弘毅 | ○河合康雄 | ○北村治志 | ○倉文明 |
| 小澤良之 | ○片岡康 | ○川合陽子 | ○北村勝 | 倉澤崇 |
| 押田忠弘 | 片上利生 | 川上貴敏 | ○北本治 | 倉園貴至 |
| OCAKTAN A. | ○片桐和臣 | ○川上正也 | 橋田正巳 | ○倉園久生 |
| ○小田清次 | ○片桐裕史 | ○川上由行 | ○木下弘 | ○蔵田訓 |
| 小田俊男 | ○片平仁行 | ○河喜多龍祥 | 木下正雄 | ○倉田毅 |
| ○織田正昭 | ○片山敏昭 | ○川口清二郎 | 木ノ本雅通 | ○倉持重彦 |
| ○小高千恵子 | 片山由紀 | 川口勉 | 木原顕子 | 倉持利明 |
| ○落合邦康 | 勝田賢 | ○川口真人 | 君塚隆太 | ○蔵本悦郎 |
| 落合恵子 | ○桂善也 | ○川口真理子 | ○木村貞夫 | ○栗田智子 |
| 落合佐智世 | ○加藤巖 | ○川崎賢二 | ○木村澄子 | ○栗田啓幸 |

- 来栖隆
○久留戸涼子
○黒岩豊秋
○黒川知
黒川博史
○黒川正身
○黒木俊郎
○黒坂公生
黒田耕太郎
黒田誠
○桑原京子
○桑原章吾
- 【ケ】
見理剛
- 【コ】
○胡志青
○小池和子
○小池直人
小池正道
○五石義範
○小出幸夫
○小岩井健司
郷司典子
○高乘仁
○合田朗
○鴻野あや子
○河野恵
○河本泰良
古賀泰裕
○古閑淑
○古口昌美
木暮一啓
○小迫芳正
○小島節朗
小島丈尚
○小嶋尚夫
児島広枝
小島保彦
○小嶋由香
○小関健由
○小平晋士
児玉武子
- 後藤敦
○五島磋智子
○後藤甚作
○後藤延一
○後藤紀久
○後藤元
古西清司
○小西靖彦
小沼博隆
○此枝義記
○小島満子
○小林一三
○小林寅テツ
小林香織
小林和夫
○小林貞男
小林鶴
○小林真次
○小林園子
○小林達生
○小林信春
小林秀樹
小林寛久
小林温
○小林米作
○小堀洋美
○駒形安子
小牧久幸
○小松祥男
○小松信彦
○小松洋子
○小松崎尚
小宮明代
○小宮貴子
○五明利恵子
○小室真保
○小山憲次朗
○小山泰正
○権文柱
金剛寺昭一郎
○近田俊文
○近藤勇
○近藤瑩子
近藤慶一郎
- 近藤誠一
近藤典子
- 【サ】
○斎藤和久
○斎藤香彦
斎藤慶子
斎藤孝二郎
○斎藤三郎
○斎藤慎二
斎藤正路
斎藤利彦
○斎藤肇
○齋藤齋
斎藤日向
斎藤充弘
○斎藤幸男
○才野佑之
○佐伯洋二
Sayera B
酒井敦子
○坂井千三
坂井哲男
○酒井学
榊原外江
○坂口早苗
○坂口武洋
○坂崎利一
阪田匡
○阪野哲也
○坂本憲市
○坂本道生
○相楽裕子
○桜井勝雄
桜井信彦
○桜井進
○桜井直美
○櫻田純次
櫻田紳策
○笹川千尋
○佐々木正五
○佐々木武二
○佐々木次雄
○佐々木脩浩
- 佐々木秀貴
佐々木文彦
○佐々木裕子
○笹竹幸子
○笹津備規
○笹原武志
笹平俊
佐多辰
○貞弘省二
佐藤五雄
○佐藤一人
佐藤研一
○佐藤謙一
佐藤早和子
○佐藤静夫
○佐藤純一
○佐藤隆昭
○佐藤隆
佐藤正明
佐藤眞美子
○佐藤祐一
佐藤祐子
佐藤優子
佐藤留美子
佐藤若子
佐野保広
鮫島勇次
澤井淳
○澤井哲夫
沢木勝志
○澤田章
○沢田拓士
○澤田直登
○沢村貞昭
- 【シ】
○塩沢寛治
塩島正之
○塩野昭彦
塩野雅孝
○志賀鑑時
○重松貴
○宍戸春美
志関雅幸
- 信太治
篠崎紀子
○篠田孝子
○四ノ宮成祥
四ノ宮美保
柴田幹良
○柴田幸永
芝原友幸
○渋谷和俊
○渋谷勝利
島内千恵子
○島田健次郎
嶋田浩一
○島田進一郎
○嶋田甚五郎
○島田俊雄
島田雅彦
島村誠一
○島村忠勝
嶋森好子
○清水喜八郎
○志水恵子
○清水旬
清水健
○清水忠順
○清水徹
○清水朋子
清水文雄
清水正樹
清水正樹
清水可方
志馬寛明
下地善弘
○下條寛人
宿崎幸一
○白井淳吾
○白井誠
○白倉哲郎
○神智恵子
○神真知子
○辛ヨク國
○新垣正夫
進士ひとみ
新谷喜久夫

- 新谷三春
- 【ス】
- 末柄信夫
末吉加奈子
- 菅原眞一
- 杉田隆
杉田隆
杉山典
- 杉山芳宏
- 鷺崎清司
- 鈴木明子
- 鈴木邦夫
- 鈴木潤
- 鈴木祥子
鈴木愼一
- 鈴木荘介
鈴木貴弘
- 鈴木孝昌
- 鈴木達夫
- 鈴木敏彦
鈴木俊彦
鈴木直子
鈴木英史
- 鈴木誠
鈴木路子
- 鈴木基文
- 鈴木八重子
- 鈴木由美子
- 鈴木洋一
- 鈴木洋二
鈴木理恵子
鈴木里奈
- 須藤和則
- 須藤恒二
住友みどり
- 陶山一雄
- 【セ】
- 瀬尾元一郎
- 関啓子
関浩孝
関口恭子
関口伸子
- 関崎勉
- 関矢加智子
瀬戸山裕美
全田直子
泉福英信
- 善養寺浩
- 【ソ】
- 添田百枝
- 外村幹雄
- 染野修一
- 染谷四郎
- 【タ】
- 高井信子
- 高井寛
高尾亞由子
- 高岡成好
- 高木英美子
- 高木昌美
- 高木義次
高倉彰
- 高阪精夫
- 高須賀直美
- 高添一郎
- 高田和子
高田勝利
- 高田欣二
高田史男
- 高津聖志
- 鷹野サナエ
高野志津子
高野真由美
- 高橋勇
高橋勇
- 高橋英司
高橋雄彦
- 高橋欣也
- 高橋紘一
- 高橋淳吉
高橋順子
- 高橋信一
高橋孝行
高橋琢也
- 高橋智恵子
- 高橋勉
高橋徹
- 高橋敏雄
- 高橋俊一
高橋朋子
- 高橋信義
- 高橋正樹
- 高橋正樹
- 高橋政壽
- 高橋光良
- 高橋めぐみ
- 高橋元秀
- 高橋泰子
- 高橋祐介
高橋幸裕
高橋由美
高原正明
高峰道子
高山吉永
- 田川裕一
- 滝龍雄
滝口久
滝田齋
- 田口晴彦
田口文章
竹内邦夫
- 竹内聰
竹内武男
- 竹内富雄
- 武内博朗
竹内良夫
- 竹尾漢治
竹尾忠一
- 竹下玲
- 竹田多恵
- 竹田宏
武田宏幸
武田光雄
武田康篤
- 竹田美文
- 竹之内俊
- 竹村俊哉
- 田島政三
- 田代真人
- 田代靖人
- 多田新一
- 多田隈卓史
竹内愼
- 田爪正気
伊達佳美
- 立石朝子
- 立石昌義
- 館田一博
田中彰
田中和生
- 田中耕
- 田中重則
- 田中忍
田中崇
田中隆治
田中直彦
- 田中信男
- 田中一
- 田中晴雄
田中秀憲
- 田中守
- 田中真由美
- 田中道裕
田中義正
- 田中隆一郎
- 田中倫
田辺文憲
- 田邊眞
田邊友紀男
- 棚元憲一
- 谷佳都
谷村顕雄
- 谷本弘一
谷家貴之
- 種子野章
種山二朗
- 田淵清
- 玉井功一
- 玉内秀一
- 玉澤修
- 玉山詩枝子
- 田丸俊一
- 田村淳
- 田村和満
- 田村忍
田村俊
- 田村典彦
- 田村弘
- 田村弘志
- 田村豊
田原保夫
丹生茂
丹生徹
- 丹野憲二
- 檀原宏文
- 【チ】
- 千田三郎
- 千田俊雄
- 千葉喜美夫
- 千葉丈
張慧敏
- 長則夫
- 帖佐浩
- 【ツ】
- 塚野尋子
- 築地真実
- 辻明良
辻山博之
土田八千雄
- 土屋明宏
土屋憲
- 土屋俊夫
土屋朋子
網美香
- 常木明
- 角田光子
- 坪井義昌
- 津守秀明
- 露木和徳
- 鶴純明
鶴岡勉
- 鶴岡正夫

【テ】

Tint Swe
 ○出口浩一
 ○寺門誠致
 寺嶋淳
 ○寺田厚
 ○寺田英司
 寺津道弘
 ○寺山武
 ○寺脇良郎
 田慶宝

【ト】

○戸井田一郎
 ○遠竹恭子
 遠間有希子
 ○徳田芳子
 ○徳永徹
 ○徳丸洋一
 ○戸沢秀樹
 ○戸田すま子
 ○戸田眞佐子
 ○戸田正人
 戸塚恭一
 ○留目優子
 ○戸根慶子
 ○土肥関子
 ○飛田昌男
 ○戸邊亨
 富田治芳
 富永薫
 富谷義徳
 ○土門春樹
 ○豊澤逸生
 豊島良枝
 鳥居慎一

【ナ】

○内藤誠之郎
 内藤博敬
 ○内藤穂積
 ○内藤祐子
 ○直江史郎
 ○永井彰

○長井伸也
 長井辰男
 ○長井正昭
 ○中江太治
 ○長江晴男
 ○中尾浩史
 仲岡千代子
 長岡宏美
 ○長岡正人
 長岡芳昭
 ○中川端
 ○中川昇
 長岐為一郎

○中里和美
 ○中沢宗生
 ○中塩哲士
 中嶋輝
 中島和英
 中島浩
 ○中嶋睦安
 ○中島靖之
 ○中島良平
 ○永瀬金一郎
 中田光
 ○中田登
 永田典代
 ○中田博章
 ○長手尊俊
 中永和枝
 ○中西宗雄
 永沼克之
 永野健太郎

○中野康平
 ○中野壽夫
 ○中野雅子
 ○中野昌康
 ○長野百合子
 ○中原英臣
 ○中原正城
 仲真晶子
 長町幸雄
 長峰孝文
 長峯範行
 中務朝紀

○中村明子
 ○中村磐男
 ○中村和則
 ○中村國衛
 中村穰
 ○中村武
 中村紀雄
 ○中村正夫
 中村美智
 中村愛
 中村幸伸
 ○中村良子
 ○中谷林太郎

○中山
 中山恵介
 中山周一
 ○中山幹男
 ○七山征子
 ○波岡茂郎
 並松孝憲
 ○納谷正夫
 ○成内秀雄
 ○成川新一
 ○成松久
 成島聖子
 ○難波希三子
 ○難波窈司

【ニ】

○新井田昌志
 仁礼誠士
 西海秀作
 ○西尾信一
 ○西尾富和
 ○西岡久壽彌
 ○西川朱実
 ○西川二郎
 ○西川哲男
 西木禎一
 西澤智康
 西谷肇
 西浜康子
 ○西原重樹
 ○西原達次

○西村和子
 ○西村敏男
 ○西村芳子
 ○西山彌生
 ○二宮守弘
 ○丹羽章
 丹羽源男
 ○庭野清司
 ○庭山邦子

【ヌ】

○額賀路嘉
 布井博幸
 ○沼田岳二
 ○沼田和生
 ○沼田隆善

【ノ】

○野垣兼朗
 野口俊昭
 ○野口雅久
 ○野沢龍嗣
 ○野田公俊
 野々山勝人
 ○野間口博子
 ○野本康二
 ○野呂瀬嘉彦
 野渡正彦

【ハ】

○はい島由二
 ○芳賀潤一
 萩原敏且
 朴仙姫
 朴美研
 ○橋北義一
 ○橋爪壮
 ○橋爪照隆
 橋詰真美
 ○橋本一男
 橋本修一
 ○橋本喬
 ○橋本達一郎
 橋本哲男

橋本知恵

○橋本一
 ○蓮田勝美
 蓮沼良一
 ○長谷川紀子
 長谷川護
 ○長谷川美幸
 長谷川幸雄
 ○長谷川洋一
 ○秦藤樹

○畑中繁男
 初瀬洋美
 ○八田重男
 花木秀明
 ○花澤重正
 花澤良

○花田信弘
 花輪智子
 ○浜島健治
 ○濱島壘
 ○浜田信城
 ○浜田雅
 濱端崇
 早川勇夫
 早川光央

○林邦雄
 ○林喬義
 ○林哲也
 ○林英生
 ○林不二雄

林良雄
 ○林義則
 林芳郎
 ○林谷秀樹
 ○原稔生
 原宏佳
 原やす子
 ○原征彦
 ○原口怡子
 ○原澤亮
 ○原田賢
 ○針ヶ谷敬子
 春木宏介
 半田直史

- 飯田暢子
○坂東明美
- 【ヒ】
- 楡垣恵
○久恒和仁
飛田美穂
日野原良美
平井昭彦
○平井要
平井喜久枝
平井孝一
○平井俊博
○平岡健二
平岡健二
○平岡俊景
○平岡行博
平賀千兼
○平沢正知
○平田一郎
平田隆弘
○平田恒彦
○平谷民雄
平塚浩一
○平松啓一
○平山芳
○平山和宏
○平山久子
○平山昌邦
○蛭田徳昭
広瀬文夫
広中隆行
○廣野育生
- 福田靖
福田康夫
○福本裕
○福安嗣昭
○福山正文
○福羅勝久
○藤井敏男
藤井友紀子
○藤江昇
○藤沢倫彦
○藤島鉄郎
○藤田勲
○藤田和彦
○藤田浩
○藤田雅外
○藤田康弘
藤巻わかえ
○藤村節夫
○藤村響男
○藤本修平
○藤原博
○布施愛索
○二重作豊
○布藤聡
○船渡川圭次
降旗格也
○古川迪代
古谷信滋
古谷信彦
古屋みち代
古屋由美子
- 堀賢
堀周作
○堀幹郎
堀内三吉
○堀内千鶴子
○堀内善信
堀米仁志
○本多英一
○本田政幸
本藤良
本間聖進
○本間玲子
- 【マ】
- 馬リン
前川啓二
○前川純子
前澤浩美
○前島一淑
前島清美
○前田暁男
前田修
○前田謙二
○前田伸子
○前田康行
前橋一紀
前山順一
真壁明子
○牧江弘孝
○牧野和子
○牧野潔
楨村浩一
○政本多美子
増子京子
○馬島敏郎
○真下順一
○増澤俊幸
○益田昭吾
○増田高志
○益吉眞次
又平芳春
○町田勝彦
○松井勝彦
○松井清治
- 松井英則
○松井道子
松浦司郎
○松浦基博
松尾英一
○松尾和浩
○松岡正典
○松坂厚子
○松下秀
○松下忠弘
松島章喜
松田枝里子
○松田耕二
松田孝二
松田基夫
○松前昭廣
松丸明子
松丸裕之
松村順子
松本一政
○松本敏
○松本哲哉
○松本願樹
○松本雅彦
松本由果
松本良二
○松山秀明
真原進
丸美宏
○丸茂健治
○丸山総一
○丸山務
- 水谷武夫
○水野孝重
水野賢善
水野剛
○水野伝一
○水之江公英
○三瀬勝利
溝呂木達也
○三田あきら
○光岡知足
○三橋進
○三ッ矢正安
○湊一
○三淵一二
宮内進
○宮内正幸
宮岡正明
○宮川智秀
○宮川洋三
○三宅輝久
三宅敏夫
三宅浩之
○三宅真実
○宮崎勝昭
○宮崎修一
○宮崎健
○宮治誠
○宮田満
○宮原美知子
○宮本正志
○宮本泰
○美蒼志康
三和敬史
- 【ミ】
- 三浦直
三上修
○三上襄
○三木裕道
三栗谷久敏
○三毛明人
○三澤洋
○三嶋建次
三島櫻子
○水口康雄
- 【ム】
- 武笠英彦
○務台方彦
○武藤里志
武藤光明
○武藤弓子
○村井貞子
○村井美代
○村上研一郎
村上博子
- 【フ】
- 深沢茂樹
○深沢義村
○福井正憲
福島恵美子
○福島和雄
○福島和貴
○福島淳
福田一郎
○福田秀行
- 辯野義己
- 【ホ】
- 北條囿生
保坂雅喜
○星川泰俊
○保科定頼
星野一樹
星野克明
細川桂一
堀田国元

○村上幸生
村瀬敏之
村田敬寛
○村田良介
村谷哲郎
村松一政
○村松紘一
○村松昌武
○村山そう明

【モ】

○元松礼三
○森忠敬
○森雅明
○森守
○森康行
森石恒司
○森下隆
○森下芳行
森嶋清二
森田慶作
○森田耕司
○森田全
森田廣幸
○盛永直子
○森村栄一
○森本紀子
○森山徳長
○諸角聖
○両角徹雄
○諸富正己
○諸星俊郎
門間千枝

【ヤ】

○八重島智子
八木淳二
○谷口悦子
○矢沢勝清
矢島彩子
○八嶋務
○矢島昌子
○安江徳太郎
安神橋三

○宿前利郎
谷中匡
○柳川義勢
柳澤裕子
○柳原保武
○矢鍋誠
○矢野トモマサ
○矢野間俊介

藪内由史
○山井志朗
山内恒治
○山浦昇
○山岡実
○山川敏郎
山岸晃
○山口恵三
○山口聖賀
○山口英世
山口仁美
○山口博之
○山口文恵
○山口正則
山口守道

○山崎悦子
○山崎喜久雄
○山崎堅一郎
○山崎省二
山崎伸二
山崎剛
○山崎正利
○山里一英
○山下雅嗣
山下道孝
山田了
山田滋雄

○山田澄夫
○山田隆子
山田尊士
○山田俊彦
○山田秀彦
山田文也
○山田光男
○山田陽子
○山田喜紹

山中あゆみ
山本明彦
○山本綾子
○山本和則
○山本勝彦
山本京子
○山本孝史
○山本三郎
○山本茂貴
○山本脩太郎
○山本達男
○山本敏昭
○山本十糸子
○山本友子
○山本寛
○山本実
○山本雅彦
○彌吉真澄
鎗田響子
○殿小傑

【ユ】

○湯浅享子
尤志英

【ヨ】

與儀ヤス子
○横倉輝男
○横須賀秀人
○横田明
横田栄作
○横田健
○横溝祐一
○横室公三
横山栄二
○横山悟一
○横山耕治
横山哲也
○吉江忠正
吉岡克祥
芳岡正一
○吉川昌之介
吉越昭夫
○吉沢花子

○吉沢幸夫
吉田篤司
○吉田健治
○吉田孝人
○吉田孝治
○吉田貴彦
○吉田彪
吉田辰巳
吉田徹也
吉田正夫
○吉田益史
○吉田洋子
吉田芳哉
吉野健一
○良原栄策
○吉原英児
○吉福幸治
○吉本尚
○米山裕

【リ】

李永芳
李曉宇
梁愛華
○龍野國弘

【ル】

○ルナール純子

【ロ】

○六反田亮

【ワ】

○和宇慶朝昭
若野和正
○若林久嗣
若松恵利
脇坂紀子
脇山博之
○和気朗
○和田英太郎
○和田佳代子
和田博志
○度会雅久

渡辺篤史
○渡部和男
○渡部和郎
○渡辺清子
○渡辺邦子
○渡辺幸一
渡辺浩一
渡辺聡子
○渡辺忠男
○渡邊登
○渡辺治雄
渡辺真紀
○渡辺征
○渡邊満
○渡辺保雄
○渡辺祐子
渡邊ユキノ
渡辺陽子

集 会 案 内

○第13回「細菌の病原性とその分子遺伝学」研究会

日 時：平成9年7月26日（土）13:00～17:00
場 所：東京医科歯科大学一号館講堂
テ - マ：グラム陰性菌の病原性研究の多面的展開
世 話 人：中澤晶子 山口大学医学部微生物学
問 合 せ 先：☎ 0836-22-2226 FAX 0836-22-2227
E-mail:nakazawa@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp

○第44回毒素シンポジウム

日 時：平成9年7月30日（水）～8月1日（金）
場 所：かずさアカデミアホール
（千葉県木更津市矢部かずさアカデミアパーク内）
特 別 講 演：プリオン病の分子病理
世 話 人：竹田 多恵 国立小児病院小児医療研究センター
問 合 せ 先：第44回毒素シンポジウム事務局 吉野健一
☎ 03-3414-8121（内線2762、2768）
FAX 03-3411-7308、03-3414-3208
E-mail:unirinkai@nch.go.jp

○第8回日本生体防御学会総会

日 時：平成9年7月28日（月）～30日（水）
場 所：東京大学本郷キャンパス山上会館
テ - マ：非特異的防御機構から特異的免疫へ
会 長：成内 秀雄 東京大学医科学研究所
問 合 せ 先：日本生体防御学会事務局
☎、FAX 03-3444-3197

○第26回薬剤耐性菌シンポジウム

日 時：平成9年8月22日（金）～23日（土）
場 所：かずさアカデミアホール
（千葉県木更津市矢部かずさアカデミアパーク内）
会 長：平松 啓一 順天堂大学医学部
問 合 せ 先：事務局 群馬大学医学部薬剤耐性菌実験施設
☎ 0272-20-8085 FAX 0272-20-8088

○第42回ブドウ球菌研究会

日 時：平成9年9月4日（木）～5日（金）
場 所：川崎医科大学・メディカルミュージアム（現代医学教育博物館）
特 別 講 演：バンコマイシン低感受性MRSA—そのメカニズムと対策—
細菌表層の疎水性と親水性
世 話 人：第42回ブドウ球菌研究会事務局
松本 明 川崎医科大学微生物学教室
☎ 086-462-1111 FAX 086-462-1199

議 事 録

平成6～9年 第6回日本細菌学会関東支部評議員会 議事録

日 時：1996年6月8日(土)、午後2時～5時

場 所：日本歯科大学 1号館4階 第3会議室

出席者：新井俊彦、池田達夫、伊藤 武、井上松久、伊豫部志津子、
内山竹彦(兼第76回総会長)、梅本俊夫、大国寿士、奥田克爾、
川原一芳、近藤誠一、野田公俊、平松啓一、松浦基博、水口康雄、
宿前利郎、澤井哲夫(第75回総会長)、吉川昌之介(支部長)、
長井伸也(幹事)、古西清司(幹事)

欠 席 者：江川 洵、佐藤謙一、辨野義己、山本友子、吉田洋子(幹事)

1. 第5回関東支部評議員会議事録の承認

第5回関東支部評議員会議事録については、異議なく承認された。

2. 第75回支部総会準備状況報告

澤井総会長より第75回総会(平成8年6月27・28日 千葉大学けやき会館にて開催予定)の、内山総会長より第76回総会(平成8年11月13・14日 東京女子医大弥生記念講堂にて開催予定)の準備状況に関してそれぞれ報告があった。なお、第76回総会に続く平成8年11月16日午後、経団連会館にて「化学療法薬は何故効き、何故効かなくなるか」というテーマで日本細菌学会関東支部会、日本化学療法学会東日本支部会および日本感染症学会東日本地方会の3学会合同シンポジウムが開催されることが報告された。

3. 第77、78回支部総会長選出

第77回総会長には奥田克爾教授(東京歯科大学)が、第78回総会長には竹田多恵部長(国立小児病院小児医療研究センター)がそれぞれ決定され、総会での承認を得ることとなった。

本件に関連して吉川支部長より、総会場の確保の問題および合同学会開催に向けてのタイムスケジュールの都合から、総会長の選出時期を現行より1年早めることについて検討して欲しいとの諮問が学術集委員会に対してあった。

第78回総会については合同学会という形での開催を目指しているため、すでに竹田先生には内定という形で他学会との交渉に参加してもらっていること、ならびに交渉内容に関しある程度委任してもらいたいとのことについて、支部長より評議員会に対して了解を求められ、異議なく了承された。

4. 本部会計方式変更に伴う関東支部の対処について

本部の学会事務の移管に伴い、決算方式が貸借表方式から現金主義に変わりまた会員の会費の口座引き落としが11月30日となったため、本部では予算、決算書における収入の見かけ上の増加を防ぐための措置がとられることが吉川支部長より報告された。一方、関東支部では本部と会計年度が異なり、(10月1日始～翌年9月30日)、予算、決算の上で不都合は生じないことから、これに関して特別な措置は行わないことが決定された。

5. 会計監査の選出

投票の結果、会計監査には新井俊彦教授と大国寿士教授の両名が決定された。

6. 感染関連三学会支部合同集會問題補足(次回評議委員会への申し送りについて)

本評議員会の任期終了後も三学会合同集會の開催を継続、発展させるため、次回評議員会への申し送り事項を書面にて引き継

ぐための委員会を設置することが決定された。

7. 報告事項

①関東支部選出本部理事定員数について

かねてから本部に要請していた、関東支部選出本部理事の1名増員の件について、先日開催された本部理事会において決定され、評議員会にて承認されたことが支部長より報告された。

②本部新入会員の入会手続き、支部会員名簿管理について

従来、各支部を経由して行われた正会員および学生会員の入会手続きが、今後は直接本部事務局にて行われることが本部総会（平成8年3月27日開催）にて決定されたことが支部長より報告された。ただしこの際、会員名簿は従来どおり各支部にて利用できることが確認されたこと（本部評議員会記録 2. 議事(1)会則の一部改訂について）について併せて報告された。なおこれに関連して、平成7年度第3回本部理事会（平成7年6月3日開催）記録 B.【審議事項】4. 会員の入・退会手続きおよび名簿管理の事務局一元化についての項に記載のある「なお、支部の会員については、各支部で独自に名簿を作成、管理してもらうこととした」の「支部の会員」とは「支部会員」のことではなく、支部には所属しているが、本部に登録のない会員という意味であることが竹田本部理事長から吉川関東支部長へ伝えられたことが報告された。

③日本細菌学会関東支部会則の一部変更について

今後、直接本部にて入会手続きが行われた場合に、日本細菌学会関東支部会則「10. 入会には支部長の承認を得」という記載が、実態と一致しなくなる。そこで、この会則部分を変更する必要があるかどうか、将来計画委員会で検討するこ

とになった。

④本部議事録修正交渉の最終結果について

平成7年度第3回本部理事会記録 B.【審議事項】10. その他(3)に記載された関東支部関連事項に関する議事録の修正に関し、平成8年度第1回本部理事会記録 11. その他(3) 日本細菌学会関東支部からの申し入れについての項の記載により、本件は決着したことが確認され、了承された。

⑤各種委員会報告

編集、学術集会、将来計画および事業計画委員会より、それぞれの活動状況に関する報告があった。

⑥第77回総会の開催予定について

第77回総会の開催予定に関し、奥田克爾教授より報告があった。

予定日時：平成9年6月26日（木）、
27日（金）

予定場所：アルカディア市ヶ谷

日本細菌学会
関東支部ニュース
第28号

(1997. 5. 1)

発行：日本細菌学会関東支部

〒102 東京都千代田区富士見1-9-20

日本歯科大学微生物学教室内

☎03-3261-8311 (内線330)
